

化学工学会 反応工学部会 反応分離分科会
「反応分離シンポジウム2016」(案)

【主催】化学工学会反応工学部会「反応分離分科会」

【協賛】(予定)石油学会、触媒学会、産総研グリーンインキュベーションコンソーシアム

【日時】平成28年10月28日(金) 13:30~19:00(13:00受付開始)

【会場】国立研究開発法人産業技術総合研究所東北センター 産学官連携研究棟2階セミナー室
〒983-8551 宮城県仙台市宮城野区苦竹4-2-1
<http://www.aist.go.jp/tohoku/ja/access/>

【概要】近年、マイクロ空間を利用した触媒反応や、イオン流体および超臨界流体を利用した抽出分離技術の発展は目覚ましいものがあります。これまで当分科会では、触媒反応を効率的に進行させるメンブレンリアクターを中心としたシンポジウムを開催して参りましたが、本年度は、マイクロリアクターによる反応分離、並びにこれらの流体を利用した抽出技術に関するシンポジウムを企画いたしました。講演会後には、見学会および技術交流会もごさいます。多数の方の参加をお待ちしています。

【プログラム】

(1) 講演会(13:30~16:25)

13:30~13:35 主催者挨拶

岐阜大学 上宮成之 氏

13:35~13:55 「産総研 化学プロセス研究部門の紹介」

産業技術総合研究所 濱川聡 氏

13:55~14:40 「温度応答性イオン液体の開発と応用」

産業技術総合研究所 河野雄樹 氏

14:40~15:25 「連続プロセスによる高圧CO₂の溶媒代替機能の研究 ~高圧微粒化と抽出技術を例に~」

産業技術総合研究所 川崎慎一郎 氏

15:25~15:40 休憩

15:40~16:40 「マイクロリアクターを用いたフッ素系ファインケミカル製品の合成」
ダイキン工業株式会社 中谷英樹 氏

(2) 見学会(16:40~17:30)

(3) 技術交流会(17:30~19:00)

【定員】50名

【参加費】化学工学会の正会員・学生会員1,000円(資料代のみ)、協賛団体の正会員・学生会員1,000円(資料代のみ)、反応工学部会の部会法人会員・法人賛助会員(反応分離分科会3名、その他の分科会1名)無料その他10,000円、技術交流会参加者は上記金額にプラス3,000円

【問合せ先】産業技術総合研究所 長谷川泰久(022-237-3098、yasuhisa-hasegawa@aist.go.jp)

【申込方法および申込先】E-mailにて、氏名、所属、技術交流会の参加希望を明記の上、下記までお申し込み下さい。締切は10月21日(金)とします。産業技術総合研究所 長谷川泰久(022-237-3098、yasuhisa-hasegawa@aist.go.jp)